北部地域の小羽数鳥類飼養者へ
第２回の巡回指導を実施

萩農林事務所畜産部
平成21年11月13日

北部地域74戸、827羽の鶏を中心とした小羽数鳥類飼養者へ、本年度第２回の衛生指導とニューカッスル病及び伝染性気管支炎ワクチンの接種を11月４日から開始し、13日に終了しました。

高病原性鳥インフルエンザの万が一の発生に備え､北部家畜保健衛生所では、家畜自衛防疫推進協議会と共に、専門農家だけでなく小規模の小羽数飼養者へも定期巡回を実施しており、消毒や野鳥との接触を避けるための防鳥ネット使用等の一般衛生指導と、ワクチンの接種を年２回実施しています。

ワクチン接種

パンフレットの配布と説明